

平成 23 年度 環境技術実証事業検討会 地球温暖化対策技術分野
照明用エネルギー低減技術（反射板・拡散板等）
ワーキンググループ会合（第 2 回）
議事要旨

1. 日時：平成 23 年 11 月 17 日（木）10:00～12:00
 2. 場所：三菱総合研究所 4 階 大会議室 D
 3. 議事
 - (1) 個別ロゴマークについて
 - (2) 平成 24 年度 実証試験要領検討の論点について
 - (3) 実証機関の選定方法について
 - (4) 実証機関の選定（非公開）
 - (5) 今後の検討スケジュールについて
 4. 出席者：近藤靖史 座長、寺嶋之朗 委員、藤本哲夫 委員※、藤原聡子 委員、
望月悦子 委員、山本哲雄 委員
欠席者：なし
※ 藤本委員については、実証機関選定後、検討員を解任
 5. 配付資料
 - 資料 1 当分野における分野別ロゴマークの考え方
 - 資料 2 平成 24 年度 実証試験要領検討の論点
 - 資料 3-1 実証機関の公募の開始について（平成 23 年 11 月 1 日報道発表資料）
 - 資料 3-2 実証機関選定の考え方
 - 資料 3-3 実証機関の募集における申請書類
 - 資料 4-1 審査結果記入用紙（非公開資料）
 - 資料 4-2 実証機関応募者からの申請書類（環境省より配布・討議後回収・非公開資料）
 - 資料 5 今後のスケジュール（案）
- 参考資料 1 平成 23 年度 環境技術実証事業実施要領
参考資料 2 平成 23 年度 実証試験要領（当分野）

6. 議事

会議は公開で行われた。ただし、議事(4)は非公開で行われた。

(1) 個別ロゴマークについて

- ・ 資料1に基づいて、当分野における分野別ロゴマークの考え方について事務局からの説明が行われ、「ヒートアイランド対策技術分野」を参考に、「分野名」、「反射板・拡散板（照明用）」、「第三者機関が実証した・・・」といった内容を盛り込んだ素案を作成することとされた。

(2) 平成24年度の実証試験要領検討の論点について

- ・ 資料2に基づいて、議論がなされた。
- ・ コスト評価については、ランニングコストを参考項目とするが、実証可能性、実証方法等を引き続き、検討することとされた。
- ・ また、参考項目であるグレアについては、配光曲線の測定結果から算出することとし、演色性については、分光分布の測定結果から算出することとされた。

(3) 実証機関の選定方法について

- ・ 資料3に基づき、事務局より実証機関選定の考え方について説明が行われた。委員からは特に意見がなかった。

(4) 実証機関の選定

- ・ 審査の結果、建材試験センターが実証機関として選定された。

(5) 今後のスケジュールについて

- ・ 資料5に基づき、事務局から今後のスケジュールについて説明が行われた。
- ・ 次回のワーキンググループ会合は、平成24年3月9日10:00～12:00に開催されることとされた。

(文責：環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室)